

日本マスコミ文化情報労組会議（M I C）加盟単産 御中

## 長崎原爆犠牲者「慰霊碑」建立支援のお願い

2016年6月

長崎新聞労働組合  
執行委員長 田中祐作

日ごとに汗ばむ陽気になってまいりました。皆様、ますますご健勝のことと存じます。

さて、梅雨が終わるとまた「あの日」を迎えます。被爆71年を迎える今年、長崎新聞労組は会社と合同で、長崎原爆で犠牲になった報道機関の関係者を慰霊するとともに、戦中、戦後のマスコミ人の苦難と報道機関の使命を見詰め直す機会にしようと、「慰霊碑」の建立を検討しています。

長崎新聞社は1945年8月9日、原爆による火災で社屋を焼失し、疎開工場や自宅などで社員5人が亡くなりました。建設中だった疎開工場では臨時雇いの作業員4人が爆死し、新聞配達に動員された学童も約50人が犠牲となりました。被爆地の報道関係者としては、西日本新聞社長崎支局の記者1人、NHK長崎放送局の3人が殉職されています。

慰霊碑については、中国新聞労組が被爆40年の1985年8月に建立されています。被爆70年の昨年、長崎新聞労組は初めて慰霊祭を開催し、慰霊碑建立に向けた機運がようやく高まってきました。戦後70年が過ぎ、被爆者の平均年齢は80歳を超えています。被爆の実相を知る人たちがいなくなる日もそう遠くありません。被爆の実相や体験を継承し、平和の尊さ、反戦、核兵器廃絶の願いを報道関係者で共有するためにも、慰霊碑を建立したいと考えています。

現在の長崎新聞社屋は戦後移転し、原爆で1400人余りが亡くなった三菱長崎製鋼所跡に建っています。慰霊碑は、長崎新聞社玄関前ロータリー付近に建立し、この地で亡くなった原爆犠牲者も追悼したいと思います。

現在、8月9日の除幕を目標に、労組と会社とで検討を進めています。碑文は検討中ですが、中国新聞労組の原爆犠牲新聞労働者の碑（不戦の碑）に連帯し、不戦を誓い、核兵器廃絶と恒久平和を願う趣旨とし、被爆者に揮毫をお願いする予定です。

つきましては、慰霊碑建立のため、1口1000円でのご支援にぜひご協力いただき、反核・平和への思いを全国の皆さんと共有できればと思います。お手数ですが、カンパ金は単組でまとめていただき、別紙に記入いただき、今月末までに送金していただくと助かります。ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

## 長崎原爆犠牲者「慰霊碑」建立支援のお願い

この用紙をFAXで095・845・2951（長崎新聞労組）へ  
カンパ金は下記へお送りください。

九州労働金庫 長崎支店 普) 5590180

長崎新聞労働組合 執行委員長 田中祐作

(ナガサキシンブンロウトウクミアイ シッコウインチョウ タナカユウサク)

問い合わせは、長崎新聞労働組合書記局（095・845・2951）へ

単組名 \_\_\_\_\_ 代表者名 \_\_\_\_\_

郵便番号 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX番号 \_\_\_\_\_

カンパ合計金額 \_\_\_\_\_ 円

カンパ金振り込み予定日 \_\_\_\_\_